

平成14年8月19日

各 位

インタープリメント2002開催のご案内

インタープリメント2002実行委員会

実行委員長 武 居 有 恒

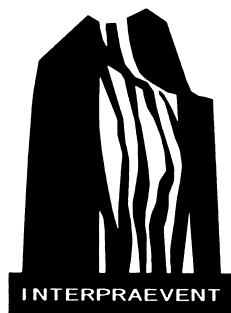
国際防災学会INTERPRAEVENT（インタープリメント）2002が長野県松本文化会館（松本市）で、平成14年10月14日から18日まで開催されます。

インタープリメントは、「地質・地形・環境・森林・気象・水文・土木等を取り入れた学際的な防災」という意味で、これまでヨーロッパアルプス諸国で、1967年から4年に1回開催されてきた国際防災学会です。

日本からは1980年バート・イシュル大会に参加したのをかわきりに毎回数十人規模で参加しています。この国際防災学会が、この度初めてヨーロッパを離れ、環太平洋地域を代表して日本で開催されます。

会議は世界各国の防災関係の研究者・技術者のために、防災に関する幅広い学術交流の場を提供すると同時に、日本の「砂防・治山」に関する先進的な学問・技術水準を海外諸国に提示し、世界各国の防災技術の発展に資するものであります。また、砂防・治山の分野における国際交流の要としての日本の役割を明確にすることにより、わが国のこの分野における国際的な地位の向上を目的として開催されるもので、砂防学会と共催で開催され、砂防関係の国際シンポジウムに当たります。

多数の方のご参加を期待するものです。

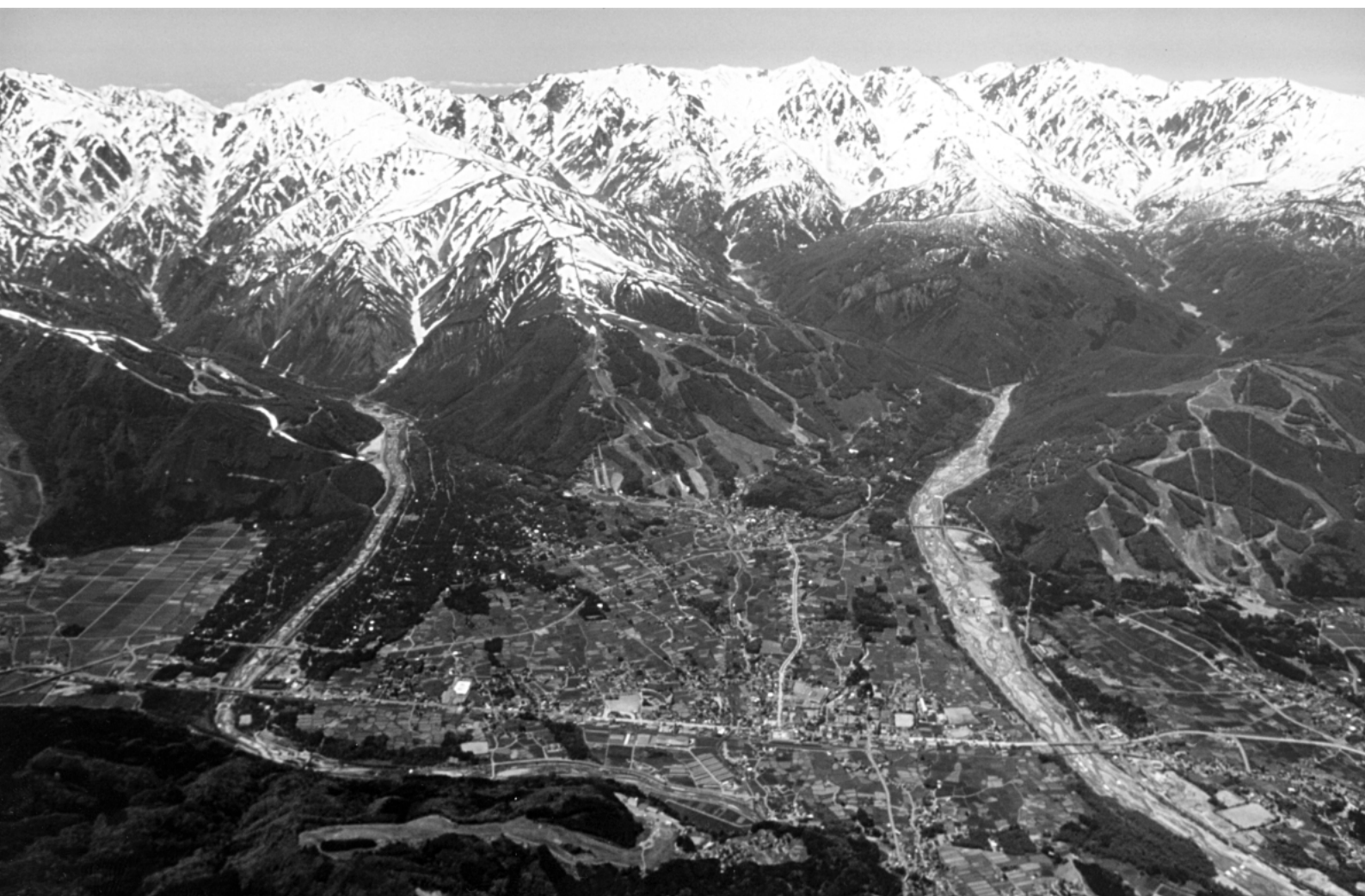


インタープリベント2002

The International Congress INTERPRAEVENT 2002 in the Pacific Rim

平成14年10月14日(月)~平成14年10月18日(金)

長野県松本文化会館(長野県松本市)



主 催 国際防災学会 環太平洋インタープリメント

共 催 (社)砂防学会

後 援 国土交通省、林野庁、長野県、松本市、日本林学会
信濃川・姫川水系砂防工事促進期成同盟会、(社)日本地すべり学会
IUFRO-Japan及びIUFRO-S8.04 (Natural Disasters)

協 賛 (社)全国治水砂防協会、(財)砂防・地すべり技術センター
(財)砂防フロンティア整備推進機構、(社)雪センター、(財)河川情報センター
(財)建設技術研究所、(社)地すべり対策技術協会、(社)日本治山治水協会
(社)日本林業土木連合協会、(財)林業土木コンサルタンツ、(財)林業土木施設研究所
(社)全国森林土木建設業協会、全国地すべりがけ崩れ協議会、(財)海外建設防災協会

事務局 (社)砂防学会 環太平洋インタープリメント2002事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館内
電話： 03-3222-0474 FAX： 03-3230-6759
E-mail： IPR2002@ics-inc.co.jp <http://www.sabopc.or.jp/IPR2002/>

問合せ先：

会議運営・論文関係：

岐阜大学農学部 木村正信

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1

FAX： 058-293-2859 E-mail： kimura@cc.gifu-u.ac.jp

参加申込関係：

インタープリメント2002 登録窓口

(株)アイシーエス企画 コンベンション営業部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館

TEL： 03-3263-6474 FAX： 03-3263-7537 E-mail： IPR2002@ics-inc.co.jp

ホテル予約関係：

阪神航空 (担当者：鈴木正文)

〒104-0031 東京都中央区京橋2-6-20

FAX： 03-3564-7655 E-mail： ms54005@travel.hanshin.co.jp

インタープリント2002実行委員会

委員長	武居 有恒	国際防災学会環太平洋インタープリント代表
副委員長	塚本 良則	東京農工大学名誉教授
副委員長	新谷 融	北海道大学大学院農学研究科教授
副委員長	岡本 正男	国土交通省砂防部長
委員	下川 悦郎	鹿児島大学農学部教授
	林 拙郎	三重大学生物資源学部教授
	谷口 義信	宮崎大学農学部教授
	水山 高久	京都大学大学院農学研究科教授
	近藤 浩一	国土交通省砂防計画課長
	田所 雅之	林野庁森林計画部治山課長
	関 克巳	北陸地方整備局河川部長
	植田 洋二	中部森林管理局森林整備部長
	小市 正英	長野県土木部長
	堀田 正樹	長野県林務部長
	腰原 愛正	大町市長(信濃川・姫川水系砂防工事促進期成同盟会会長)
	有賀 正	松本市長
	丸井 英明	新潟大学積雪地域災害研究センター教授
	木村 正信	岐阜大学農学部助教授

編集委員会

委員長	土屋 智	静岡大学農学部
副委員長	眞板 秀二	筑波大学農林工学系
	寺田 秀樹	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター 砂防研究室
	香月 智	防衛大学校建設環境工学科
	窪田 順平	文部科学省総合地球環境学研究所
	坂本 知己	森林総合研究所気象環境研究領域
	藤田 正治	京都大学防災研究所
	宮本 邦明	筑波大学農林工学系
	桜井 亘	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ 火山・土石流チーム
	阿部 和時	森林総合研究所水土保持研究領域山地災害研究室
	安養寺信夫	(財)砂防・地すべり技術センター砂防部
	小川紀一郎	アジア航測(株)防災部
Fritz Zollinger		チューリヒ州経済局景観及び自然部
Gernot Fiebiger		ザルツブルク砂防・雪崩防止局フラッハ及びテンネンガウ砂防・雪崩防 止工事事務所

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
13日 [日]							DOMODIS						本部役員との打ちあわせ (ホテルブエナビスタ)		
14日 [月]			開会式典・オープニングセレモニー			展示 登録		S1・S2					Welcome Party (ホテルブエナビスタ)		
15日 [火]						小学生インターブリエント		S3・S4					初訪行政書会議 (ホテルブエナビスタ)		
16日 [水]							ポスターセッション 発表時間	TS1・TS2・TS3							
17日 [木]							ポスターセッション 発表時間	TS4・TS5・TS6						学術会議 (ホテルブエナビスタ)	
18日 [金]						展示 登録		S7・S8						Farewell Party (松本城・二の丸跡地)	
								S9		閉会式					

テクニカルスタディツアー(6コース)

1. プログラム日程

(1) 会議受付（長野県松本文化会館 中ホール入口）

10月13日（日） 13時～17時 開始

（受付は月曜日から金曜日までの会議開催期間中も可能）

(2) 開会式典（長野県松本文化会館 大ホール）

10月14日（月）

9:00 開会式典

10:30 基調講演

Recent Sabo research and development in Japan

水山高久（京都大学大学院教授）

Strategies, methods and experiences of the torrent control engineering in the European Alps

Albert Göttle（ドイツ連邦バイエルン州河川水利局長）

(3) セッション及び分科会：（長野県松本文化会館）

10月14日（月）

第1セッション（斜面崩壊：土質力学的視点）

座長：中村浩之

副座長：Michael Moser（ドイツ）

14:00-14:15 下間 英

Model tests on slope failures caused by heavy rainfall

14:15-14:30 大倉陽一

The effect of void ratio on flow failure generation caused by monotonic liquefaction

14:30-14:45 大塚 悟

Time dependent behavior of clay in pore water pressure loading test

14:45-15:00 王 功輝（中国）

Landslide-triggered debris flow: a case study on the 29 June 1999 Kameyama landslide, Hiroshima, Japan

15:00-15:20 討論

第2セッション（斜面崩壊：地質・地形学的特徴）

座長：Hans Kienholz（スイス）

副座長：王 功輝（中国）

- 15:50-16:05 山岸宏光
*A rule of deep-seated landslides in sediment yield in the
Ishikarigawa River Basin, Hokkaido, Japan*
- 16:05-16:20 Rudolf Ondrasik(スロバキア)
*Specific features of geological hazards, and impact mitigation
in Slovakia*
- 16:20-16:35 Michael Moser(ドイツ)
*The effects of deep-seated mass movements on the alpine
environment*
- 16:35-16:50 Vishnu Dangol(ネパール)
*Landslide hazard mapping in Nepal: case studies from Marin Khola
(eastern Nepal) and Syangja district(western Nepal)*
- 16:50-17:10 討論

10月15日(火)

第3セッション(情報・モニタリング技術)

座長: Albert Göttle(ドイツ)

副座長: 山田 孝

9:00- 9:15 Damodar Bhattarai(ネパール)

Development of disaster information system in Nepal

9:15- 9:30 堀井宣幸

*Construction of a support system for optimum arrangement of debris flow
detection sensors*

9:30- 9:45 Alice Gilyen-Hofer(ハンガリー)

Danube accident emergency warning system and its operation in Hungary

9:45-10:00 討論

第4セッション4(雪崩、岩崩れ)

座長: Gernot Fiebiger(オーストリア)

副座長: 納口恭明

10:30-10:45 Jörg Heumader(オーストリア)

Technical snow-avalanche countermeasures in the Austrian alps -a review

10:45-11:00 Pavel Chernouss(ロシア)

Dynamic avalanche modeling including seismic loading in the Khibiny mountains

11:00-11:15 Marc Christen(スイス)

AVAL-ID: an avalanche dynamics program for the practice

11:15-11:30 Werner Gerber(スイス)

Peak forces in flexible rockfall barriers

11:30-11:45 Frederic Berger(フランス)

Forest: a natural protection mean against rockfalls, but with which efficiency?

11:45-12:10 討論

14:00-17:00 第1分科会 (地すべり・崩壊)

コーディネーター：福岡 浩

Hans Kienholz (スイス)

第2分科会 (雪崩、岩崩れ)

コーディネーター：仲野 公章

Jörg Heumader (オーストリア)

Werner Gerber (スイス)

第3分科会 (土砂動態)

コーディネーター：藤田 正治

Christoph Hegg (スイス)

10月17日(木)

9:00-12:00 第4分科会 (対策工)

コーディネーター：水野 秀明

Anton Loipersberger (ドイツ)

Maria Patek (オーストリア)

第5分科会 (危険度評価と危機管理)

コーディネーター：水山 高久

Kurt Rohner (オーストリア)

第6分科会 (情報・モニタリング技術)

コーディネーター：香月 智

Alice Gilyen-Hofer (ハンガリー)

第5セッション (危険度評価と危機管理)

座長：Kurt Rohner (オーストリア)

副座長：海堀正博

14:00-14:15 Hans Wolfgang Weinmeister(オーストリア)

Determination of return period of torrent disasters in the case of short recording lines in numerous catchment areas

14:15-14:30 Hans Kienholz(スイス)

Quality management in natural risk assessment

14:30-14:45 Anton Loipersberger(ドイツ)

Risk management in Bavaria

14:45-15:00 Michaela Leitgeb(オーストリア)

Event documentation: useful tool for risk analysis and proper risk management

15:00-15:20 討論

第6セッション (流域管理)

座長: Maria Patek (オーストリア)

副座長: 丸谷知己

15:50-16:05 森山裕二

Sediment control in Japan

16:05-16:20 Milan Jarabak(チェコ)

Experience after the hundred year long torrent control in the Czech Republic

16:20-16:35 Hubert Hattinger(オーストリア)

Integrated project of water management Ribeira Santa Cruz, Cape Verde

16:35-16:50 Amoda Nanda Mishra(ネパール)

Disaster prevention countermeasures in Nepal

16:50-17:10 討論

10月18日(金)

第7セッション (土砂災害)

座長: 池谷 浩

副座長: Chjeng-Lun Shieh (台湾)

9:00- 9:15 竹林洋史

Geometric characteristics of braided channel on non-uniform sediment bed

9:15- 9:30 池田暁彦

Debris flows generated at Kitamata Valley of the Name River

9:30- 9:45 Kosit Lorsirirat(タイ)

Catchment soil erosion and reservoir sedimentation prediction for Khwae Noi

Reservoir lifespan project in Thailand

9:45-10:00 Haryadi Djama(インドネシア)

Landslide disasters in Indonesia

10:00-10:15 Christoph Hegg(スイス)

Investigations on the influence of storm caused damage on the runoff formation and erosion in small torrent catchments

10:15-10:40 討論

第8セッション（対策工）

座長：大久保 駿

副座長：Anton Loipersberger（ドイツ）

11:10-11:25 水野 秀明

Experimental study on effectiveness of slit type dam for controlling mudflow

11:25-11:40 富田 陽子

Change over time of Sabo structures using natural materials

11:40-11:55 Florin Florineth(オーストリア)

Stabilization of landslides with bio-engineering measures in south Tyrol/Italy and Thankot/Nepal

11:55-12:10 Rey Freddy(フランス)

Optimal ecological engineering for erosion control in torrential catchments

12:10-12:30 討論

第9セッション（流域管理、危険区域設定）

座長：水山 高久

副座長：Jörg Heumader（オーストリア）

14:00-14:15 山下伸太郎

Effect of concrete slit dams to control sediment discharge in volcanic areas

14:15-14:30 安養寺信夫

On emergency measures against sediment related disasters during volcanic eruptions

14:30-14:45 安田勇次

Effects of hillside sand control works on restricting soil production and outflow, and restoration of greenery by the works

14:45-15:00 Andreas Rimböck(ドイツ)

Loads on rope net constructions for woody debris entrapment in torrents

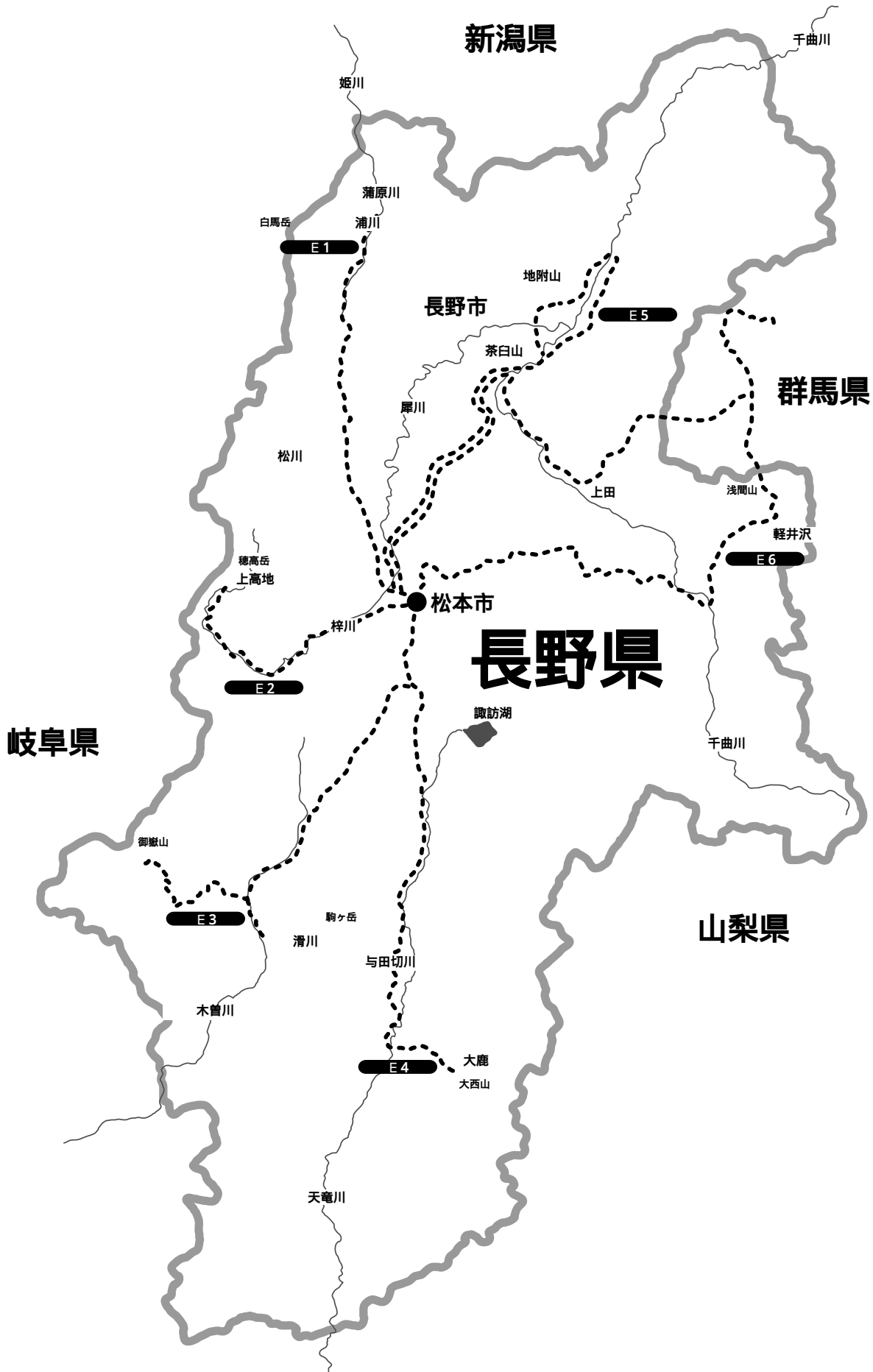
15:00-15:15 Holger Gärtner(スイス)

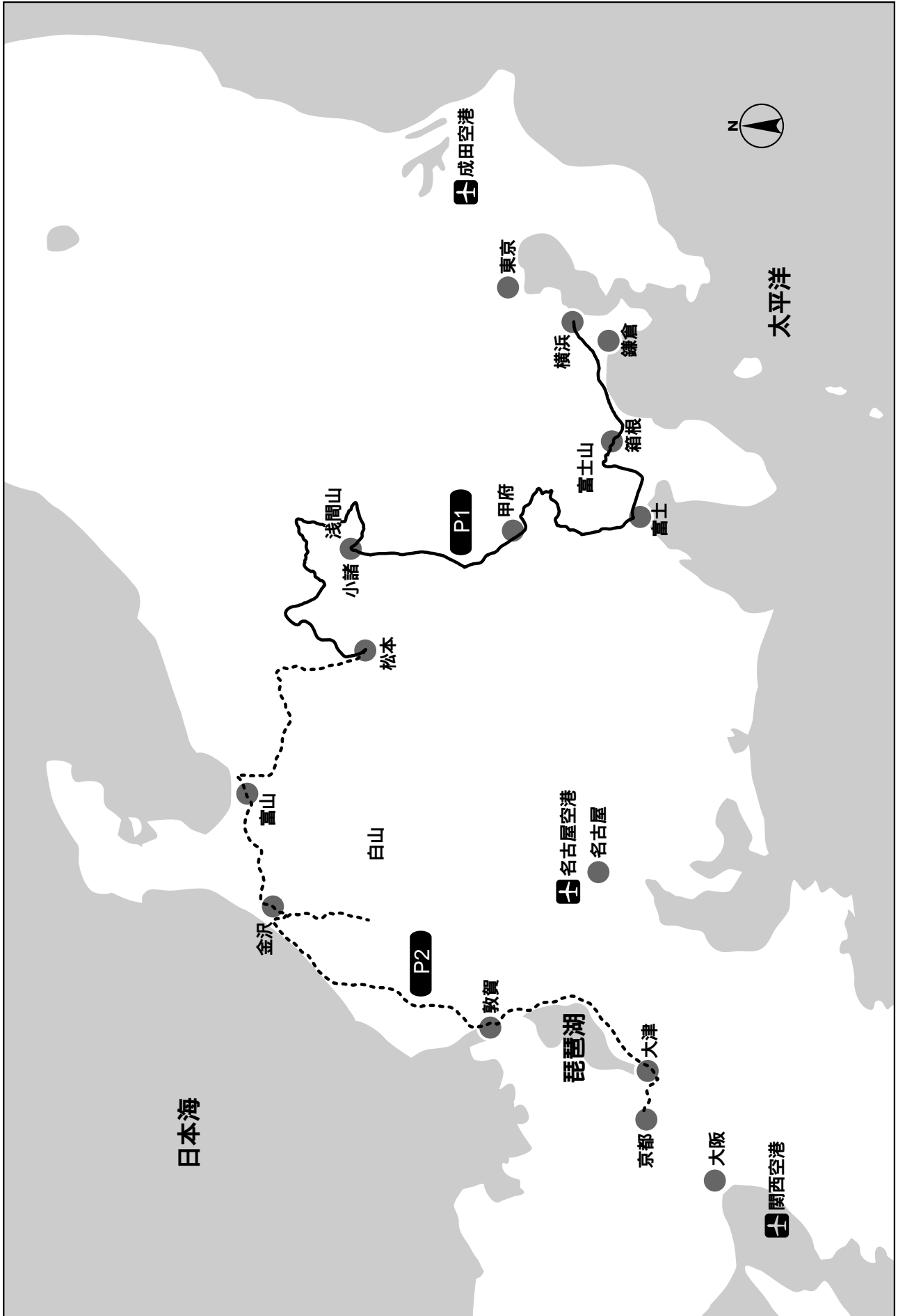
Detailed mapping and dendrogeomorphological analysis of a debris flow torrent in Switzerland

15:15-15:30 周 金星(中国)

Study on the debris disaster early-warning systems by the NN technique

15:30-16:00 討論





(4)現地見学会

1)テクニカルスタディーツアー（日帰りツアー）

実施日時：10月16日(水) 8:30～18:00現地見学会（6コース用意）

定員数：1コースにつき40名（定員数になり次第、締切りとなります）

現地見学会は下記の6コースで実施します。なお、行程及び内容については変更する場合があります。

①姫川流域の土石流対策と白馬村冬期オリンピックジャンプ台

松本→松川床固工群→白馬村→松本

~~②中部山岳上高地と左俣谷の雪崩災害跡地（定員数に達しましたので申込終了です）~~

~~松本→上高地溪流保全工→河童橋周辺→松本~~

③御嶽山の地震に起因する大崩壊地と木曾川の砂防事業

松本→御嶽山「田の原山荘・大崩壊地遠望、濁沢」→大滝村公民館→奈良井宿→松本

④天竜川沿いの流砂量観測施設と中央構造線博物館

松本→与田切川床固工流砂観測装置→駒ヶ根原・太田切川床固工群→

大西山崩壊地・大河原床固工群・中央構造線博物館→松本

⑤長野市の深層地すべり観測及び対策工

松本→地附山地すべり→善光寺→小布施町町並保全地区→松本

⑥浅間山の火山砂防対策と火山博物館

松本→軽井沢→浅間火山博物館「鬼押し出し園」→片蓋川火山砂防施設→鎌原観音堂→松本

2)ポストコンGRESツアー（3泊4日）

実施日時：10月19日(土)～22日(火)（2コース用意）

定員数：1コースにつき30名（定員数になり次第、締切りとなります）

4日間の行程は下記の2コースで実施します。なお、行程及び内容については変更する場合があります。

P1 東京方面コース（定員30名）

ツアー初日は浅間山を訪問し、次に八ヶ岳の東側の高原地域を通り山梨県釜無川の上流域を訪問する。この上流は土砂生産が激しく、1543年甲斐の国主武田信玄によって建設されたといわれ、将棋頭と呼ばれる古い堤防を見学する。3日目は富士山麓の西側を通り大沢崩れを視察する。大沢崩れの崩壊は富士山頂よりはじまり、巨大な扇状地750万㎡の巨大な土砂を流下させている。4日目は景観の優れた火山、穏やかな湖、温泉のある箱根国立公園を通り、古都鎌倉を訪れる。このツアーの終点は横浜である。

10月19日(土)：松本→浅間山→軽井沢→（佐久市ホテルルートイン佐久泊）

10月20日(日)：小諸→八ヶ岳東山麓→大武川→信玄堤

→（石和市ホテルルートイン甲府石和泊）

10月21日(月)：甲府市→勝沼堰堤→大沢扇状地→（静岡市静岡オレンジホテル泊）

10月22日(火)：静岡市→箱根（早雲山地すべり）→鎌倉→横浜

P2 京都方面コース（定員30名）

ツアー初日は長野県の北西部に位置する大町地区を訪れ、山岳景観に優れた黒部溪谷を展望するため黒部アルペンルートを通る。2日目は立山砂防を訪れ、1858年2月26日に発生した地震により大規模な崩壊が発生した立山カルデラを視察する。この崩壊により発生した流出土砂は常願寺川をせきとめ、その後、天然ダムは決壊し洪水が下流の富山市内を襲った。4日目は金沢を経て京都へ向かう。このツアーの終点は京都である。

10月19日(土)：松本→立山・黒部アルペンルート→立山カルデラ砂防博物館見学
→(大山町立山国際ホテル泊)

10月20日(日)：立山→立山カルデラ(立山砂防トロッコ上山)→立山カルデラ内見学
→(金沢市KKRホテル金沢泊)

10月21日(月)：金沢市内見学(兼六園)→白山砂防科学館→(大津市ホテルピアザびわ湖泊)

10月22日(火)：大津市→田上山(山腹工・オランダ堰堤・アクア琵琶)→京都市内観光

(5)閉会式典（長野県松本文化会館 国際会議室）

10月18日(金)16:30～17:00

(6)ポスター・ビデオセッション（長野県松本文化会館 中ホール）

会議期間中に開催します。

(7)意見交換会

10月14日(月) 18時～21時 会場：松本駅前 ホテルブエナビスタ

10月18日(金) 18時～21時 会場：松本城二の丸御殿跡

(雨天時はホテルブエナビスタ)

(8)参加費

参加費は1人4万円で論文集と16日の見学会費を含みます。

意見交換会参加費は1人5千円です。

会議参加申込み先：(株)アイシーエス企画 コンベンション営業部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館

電話 03-3263-6474 FAX 03-3263-7537

E-mail IPR2002@ics-inc.co.jp

振込先：東京三菱銀行 新丸の内支店

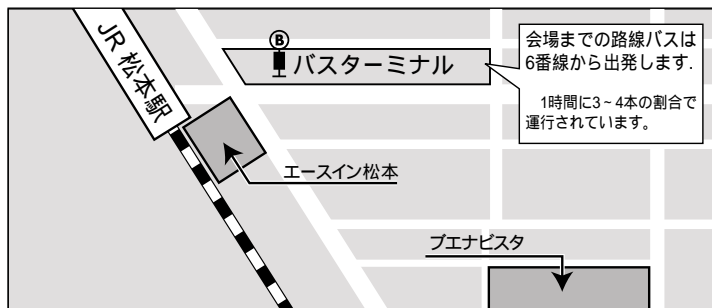
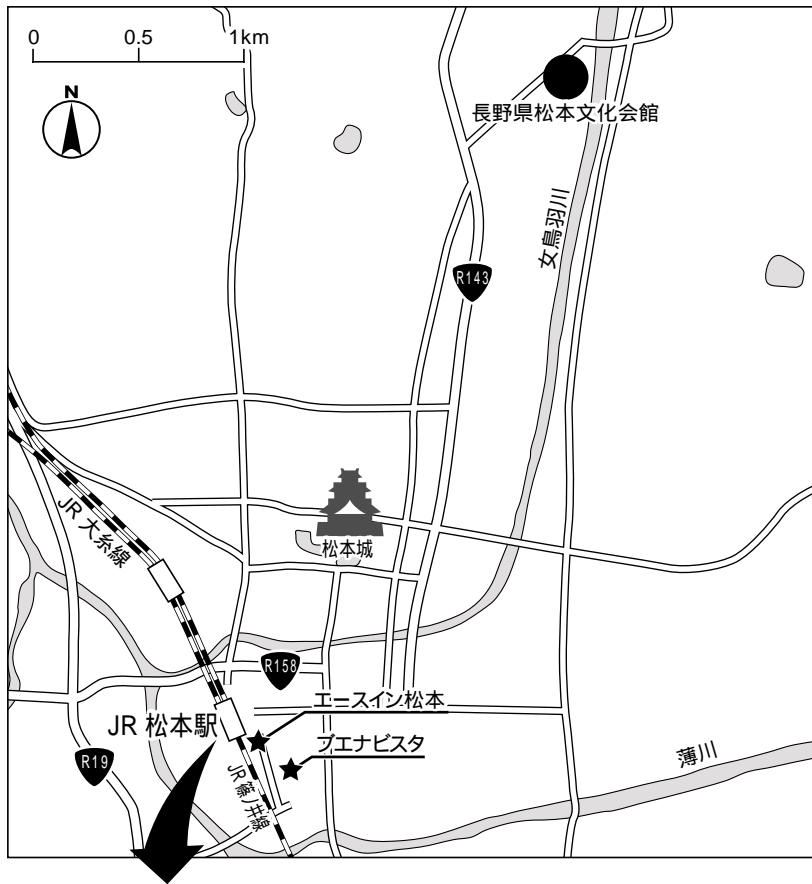
口座名：INTERPRAEVENT2002

口座番号：普通 4342312

(9) その他

開会式、閉会式及び各セッション（口頭発表）は、日本語、英語、ドイツ語の同時通訳があります。分科会は英語で行われ、同時通訳はありません。

*なお、インタープリント2002にあわせ、国際砂防行政官会議、国土交通省北陸地方整備局松本砂防工事事務所主催による「小学生インタープリント」、及び日本の砂防事業及び治山事業の紹介や最先端の砂防技術を紹介する展示会が開催されます。



参加登録の手続き

IPR2002に参加ご希望の方は、同封の登録申込用紙(Registration Form)に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送にて下記登録窓口までお送り下さい。

インタープリバント2002登録窓口

(株)アイシーエス企画内 〒102-8646 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館 (FAX: 03-3263-7537)

参加登録料及び支払い方法

参加登録料	料金	
正参加者	¥40,000-	全セッション参加、テクニカル・スタディ・ツアー参加、論文集1冊が含まれます。
学生参加者*	¥4,000-	*学生参加者は登録申込用紙提出時に学生証のコピーを添付すること。
同伴者**	¥0-	**同伴者は正参加者の配偶者等に限定され、セッションには参加できない。

お支払いは下記いずれかの方法にてお願い致します。

銀行振込***	クレジットカード
東京三菱銀行新丸の内支店 普通口座 4342312 (口座名)INTERPRAEVENT2002	VISA、MasterCard、 American Express、Diners Club

***誠に恐れ入りますが、銀行手数料は各自ご負担願います。

登録確認証

登録申込用紙と登録料の受領が確認された方には、登録確認証件領収書を送付致します。

登録料のお支払いに際し請求書が必要な場合は、登録申込用紙送付時に請求書の宛名、送付先住所を明記の上、登録窓口へご連絡下さい。

申込取消料と返金について

申込の取消をされる場合は、登録窓口まで書面にてご連絡ください。

送金手数料を差し引いた額を返金致します。尚、全ての返金は会議終了後となりますのでご了承下さい。

- 2002年9月15日から9月30日までの取消の場合、登録料の50%を返金致します。
- 2002年10月1日以降の取消の場合、返金できませんのでご了承下さい。

宿泊について

以下のホテルを会議特別料金にてお申しいただけます。

お申込は先着順でお受付しており、ご希望のホテルが既に満室の場合もございますのでご了承下さい。

エースイン 松本	シングル	¥6,700/室(朝食・税込)	JR松本駅より徒歩1分 (Tel: 0263-35-1188)
ホテルブエナビスタ松本	シングル	¥13,020/室(朝食・税込)	JR松本駅より徒歩7分 (Tel: 0263-37-0111)
	ツイン	¥24,990/室(朝食・税込)	

宿泊取消料:

宿泊取消の際は以下キャンセル料を頂戴します。

- 宿泊日より14日前までの取消の場合、キャンセル料¥2000
- 宿泊日より13日から7日前までの取消の場合、宿泊料金1泊分の50%
- 宿泊日より7日未満の取消の場合、宿泊料金1泊分の100%

ホテル予約関係お問い合わせ先:

阪神航空 (担当者:鈴木正文)

〒104-0031 東京都中央区京橋2-6-20 FAX: 03-3564-7655 E-mail: ms54005@travel.hanshin.co.jp

**インタープリバント2002 (INTERPRAEVENT2002)
登録申込用紙 (REGISTRATION FORM) 記入方法**

● 注意事項

- *必ず英文(お名前はローマ字)でご記入ください。
- *一名の参加者につき一枚の登録用紙をご記入ください。
- *ご記入後は郵送またはファックスにて下記登録窓口までお送りください。

インタープリバント2002登録窓口

(株)アイシーエス企画内

〒102-8646 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館

Tel:03-3263-6474 Fax:03-3263-7537

1. Titel 敬称を一つ選び、チェックして下さい。
2. Name 参加者氏名をご記入下さい。
3. Business Title 役職名をご記入下さい。
4. Department 部署、学部名等をご記入下さい。
5. Organization/Company 所属(大学名、学校名、会社名等)をご記入下さい。
6. Address 連絡先住所として勤務先または自宅を選び、チェックしてください。
City... 市、区、郡
State/Province... 都道府県
Zip Code... 郵便番号
Country... 国名
7. 電話、ファックス番号はCountry Code(国番号:日本は81)、Area Code(市外局番)からご記入ください。
8. Name of Accompanying person 同伴者氏名(同伴者がいる場合)ご記入ください。
同伴者は、正参加者の家族に限ります。
9. Registration Fee 登録料欄(正参加者または学生)をチェックし、合計料金をご記入ください。
10. Event & Tour fee 参加を希望するイベント及びツアー欄をチェックし、合計料金をご記入ください。
11. Oral Sessions planning to attend 参加を希望するセッション欄にチェックをして下さい。
この項目は学会の当日運営の参考にさせていただきますので、御協力をお願いします。
12. Technical Study Tour 10月16日(水)におこなわれるテクニカルスタディツアーのコースを第1希望から第3希望までご記入ください。
13. Hotel Reservation 宿泊を希望する方は、第1希望と第2希望をご記入下さい。
14. Method of Payment お支払方法-銀行振込もしくはクレジットカードいずれかをチェック下さい。
銀行振込の場合: 銀行振込をした際の証書のコピーを添付するか
振り込み予定日、振り込み人名をご記載下さい。
クレジットカードの場合: 使用するカードの種類をチェックし
カード番号、有効期限、カード名義人を記載の上、
申込日にご署名をお願いします。

Oral Sessions planning to attend (Please check the sessions you wish to attend)

Oct. 14 th	AM	Opening Ceremony ()	PM	S1 () S2 ()
Oct. 15 th	AM	S3 () S4 ()	PM	TS1 () TS2 () TS3 ()
Oct. 17 th	AM	TS4 () TS5 () TS6 ()	PM	S5 () S6 ()
Oct. 18 th	AM	S7 () S8 ()	PM	S9 ()

Technical Study Tours on 16th Oct

Fee for technical study tour is included in the registration fee. If your chosen tour is fully booked or cancelled, you may need to change to another tour. Please indicate your order of preference from the list below.

1st choice	2nd choice	3rd choice
E -	E -	E -

E1	Countermeasures to mitigate debris flows in Himekawa River catchment and visit to Jade museum
E2	Chubu-sangaku National Park, avalanche hazard area of Kamikouchi and Sumata valley (sold out)
E3	Earthquake-induced landslide, and hillslope-river rehabilitation of the volcanic Mountain on-take
E4	Geological feature underlined by the tectonic line and landscape changes along the Tenryu River and the Museum of Median Tectonic Line
E5	Mitigation and monitoring system for deep-seated landslide in the urban area of Nagano city
E6	Volcano-countermeasures around the Mt. Asama active Volcano and visit to the Museum

Hotel Reservation Please indicate your order of preference, **1**(1st choice) and **2**(2nd choice)

No.	Name of Hotel	Your Order	Room rate /room
	Ace Inn Matsumoto	Single room	JPY6,700
	Buena Vista Hotel Matsumoto	Single room	JPY13,020
		Twin room	JPY24,990

Check-in date _____

Check-out date _____ Hotel Deposit (1 night room charge): JPY _____(C)

**In case you will reserve room of double occupancy, the amount of deposit will be for 2 persons.*

PAYMENT DETAIL

Registration Fee (A) JPY _____

Event and Tour Fee (B) JPY _____

Deposit for Hotel Reservation (C) JPY _____

Grand Total JPY _____

PAYMENT

Bank transfer:

I (We) have remitted the above sum of total on _____ (date)
 by the name _____ (remitter) through _____ (name of bank) to:

Bank of Tokyo Mitsubishi, Shin-Marunouchi Branch 1-4-2, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0005
 Account number: **4342312 (Ordinary Account)**
 Account name: **INTERPRAEVENT2002**

*Please enclose a copy of your bank's receipt with this form to avoid possible confusion.

Credit card: VISA MasterCard Diners Club AMEX JCB

Card number:

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Name of card holder: _____ Expiration date: _____ / _____
 (Month/Year)

Date: _____ Signature: _____